

夏休みに向けて

7月21日の朝に全校集会を開きました。校長が翌日から出張のため、一日早い夏休み前集会でした。お話の要旨をお知らせします。

「3日間の全県総体、選手の皆さん本当にお疲れ様でした。そして激闘の末に得られたものは、勝敗以上のものがあったと思います。真剣勝負をする機会、それも県大会レベルでの戦いに挑めたことは、選手の皆さんの生きる力になると思います。そのことに自信をもって今後とも前進してほしいと思います。

平成27年度前学期前半の締めくくりとして、師の思い、についてお話しします。私が、34年前に教員としてスタートしたときに、真っ先に感じたことは、自分が中学生だったときの学級担任はこれほどまでに自分たちのことを考えていてくれたのか、という思いでした。それは、親になって初めて知る親の思い、と似たようなところがあります。学級担任が好きだったり嫌いだったり、私たちは簡単に口にします。でも自分が学級担任になったときは、今、目の前にいるこの生徒たちをこれからどうやって彼らの願う方向に導いていくのかと、悶々とした夜を過ごしたことが一日や二日ではありませんでした。それだけ、生徒の日常生活、部活動、友人関係、親子関係、などについて心配であり、うまくいってくれと願う気持ちが強かったのです。

今、大相撲の7月場所、いわゆる夏場所が愛知県で開催されています。この解説者でよく出ている人に舞の海がいます。この舞の海は皆さんはご存知ないかも知れませんが、身体がものすごく小さく、技のデパートと言われた力士です。大学の相撲部から大相撲に入るのですが、身長が検査基準の173cmに4cmも満たなくて、頭にシリコンを入れて身長を伸ばして合格したという逸話は有名です。頭にシリコンを入れた後は夜も眠られないくらい痛かったそうです。ところがこの話には後日談があって、身長に関する検査は、親方同士で根回ししていれば、そんなにハードルの高いものではなかったのだそうです。そこで、舞の海は当時の親方である出羽海親方（元横綱佐田の山）に後で「なんで根回しをしてくれなかったのですか？」と聞いたそうです。そうしたら親方は、「おまえは身体も小さいし、相撲取りになるよりは、検査に失格して他の人生を歩んだ方がおまえのためになる、と思った。そしてもしも本当に心

の底から力士になりたいのだったら、何らかの方法でおまえは検査をパスすると思っていたからだ。」と話してくれたそうです。舞の海はここまで自分の将来のことを考えていてくれたのか、と益々親方を好きになったそうです。

夏休みに、皆さん一人一人が自分の目標に向かってそれぞれの生活を送ることと思います。そのときに、あなたを思ってくれる人が、あなたのそばにいてくれるということをお忘れください。そしてその人たちの思いを受けて自分は生きているということもお忘れください。充実した夏休みになることを祈って私の話を終わります。」

第64回 秋田県中学校総合体育大会
東北大会進出おめでとう

先週末から昨日まで、各会場で行われた標記大会、どの会場でも熱戦が繰り広げられました。選手の皆さん、感動をありがとうございました。さらに、勝ち進み東北大会進出を決めた選手の皆さん、今回の大会で、自分の良かったイメージを更に伸ばして、秋田県の力、角館中学校の力を発揮してくることを祈念いたします。

それでは、各部の結果をお知らせします。

◎ 第64回秋田県中学校卓球大会

◇女子団体戦

- ・予選リーグ 3勝 予選1位
角館○3-1 ●稲川
角館○4-0 ●大館第一
角館○3-1 ●将軍野
- ・決勝トーナメント ベスト8
準々決勝
角館●2-3 ○井川

◇男女個人戦

- 大和田凛さん ベスト8 東北大会進出
加藤こゆきさん 惜敗
山田凌さん 惜敗

◎ 第64回秋田県中学校ソフトテニス大会

- ・男子個人戦
鈴木大樹さん三沼蓮さん組 2回戦惜敗
鈴木絢也さん門脇直紀さん組 2回戦惜敗
山崎禎久さん永山豪さん組 2回戦惜敗

◎ 第64回秋田県中学校陸上競技大会

- ・1500M 高貝柊斗さん7位 能美勇樹さん 惜敗
佐藤里緒さん 6位
佐々木蓮さん 惜敗
- ・100M 田中璃桜さん 惜敗

- ・走幅跳 仲野谷颯太さん惜敗佐々木花純さん惜敗
- ・砲丸投げ 田川礼さん7位 後藤大輝さん 惜敗

◎ 第64回秋田県中学校柔道大会

- ・個人戦

55kg 級 後藤瑞稀さん 準優勝 東北大会進出

81kg 級 山本和輝さん 惜敗

90kg 級 黒澤 翔さん 惜敗

57kg 級 松本 唯さん 惜敗

◎ 第64回秋田県中学校水泳競技大会

伊藤彩美さん惜敗藤木優衣さん惜敗

◎ 第64回秋田県中学校バドミントン大会

- ・個人戦 太田出雲さん 2回戦惜敗

あいさつ運動

7月15日早朝、仙北市防犯協会並びに仙北警察署の皆さんが玄関前であいさつ運動を行ってくださいました。

本校からも、生徒会執行部並びに野球部員の一部が参加しました。途中から霧雨が久方ぶりに大地を潤しました。



関係者の皆さんお疲れ様でした、そしてありがとうございました。

ようこそ先輩「先輩から学ぶ」を開催しました

秋田県教育委員会では、学校教育の重点として「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育の推進」に力を入れています。そこで、今年は、PTA総務部の方々にお願いして、角館中学校の先輩たちから、人生いかに生きるべきか、職業とは何か、なぜその職業に就いたのか、中学校生活はどんなものだったかなど、キャリア教育について理解を深めるために、ふるさとに住む先輩、そして人生の先輩をお招きして、7月16日午後に、ようこそ先輩「先輩から学ぶ」を開催しました。

午後2時から全体会で、講師の先生方15名と全校生徒が対面しました。先輩達は角館中学校出身のOBと人生の先輩の方々15名です。

総務部長の阿部さんから会の趣旨説明がありました。その後、校長から講師の先生方のプロフィールについて紹介がありました。

講師の先生方は次の方々です。

- 1 秋田銀行員
- 2 北都銀行員
- 3 割烹稲穂 社長
- 4 仙北市長秘書
- 5 角館高校長



- 6 城南堂歯科医院長
- 7 秋田さきがけ新聞角館支局長
- 8 みやま写真館 新山さん
- 9 わらび劇場支配人
- 10 堺商店 社長
- 11 侘桜（わびざくら）社長
- 12 ルーシーカンパニー鈴木さん
- 13 通訳案内士 3名

開会式が終わり、それぞれの教室に25～7名ずつの生徒が異学年で移動しました。授業時間は次のとおりでした。

1時間目 午後2時30分～3時15分

2時間目 午後3時25分～4時10分

13の教室を短い間でしたが全て回って、それぞれの先生方のお話を耳にしました。どの先生も熱気にあふれ、自分の職業への思いがとても強く出ていました。人生で感じている自分の思いを残すことなく本校の生徒に語っていただきました。

授業での最後の感想発表や、授業を終えてからの生徒の感想を聞くと、おもしろいお話の数々であったこと、自分の将来の進路の参考になったこと、そして、知りたいと思っていた職種について理解が深まったことなど、一人一人の生徒の心にこれからの人生の指針となるべきお話の数々でした。

講師の先生方、PTA総務部員の方々、本当にありがとうございました。

